



小金沢山連嶺

小金沢山 牛奥ノ雁ヶ腹山
(こがねさわやま2,014m)(うしおくのがんがはらすりやま1,990m)

猛暑も少し落ち着き、どことなく秋めいてきた。今回はビジターの石樽卯一さん、飯田洋子さんを含め14名の参加で、いつもより少なめの人数。向かうは小金沢連嶺で、当山行会としては初めてのコースのようだ。富士山が綺麗に見えることでも知られている◆バスは中央道を大月ICでおり、甲州街道のJR甲斐大和駅付近から大菩薩初鹿野線(県道218号)を北上。登山口の小屋平に到着した。ここでは駐車はできないため事前に登山準備を整えて素早く下車する◆山道に入ると明るい混交林がつづく。木々の葉は黄色味を帯びて秋を感じさせているが、黄葉を期待していたカラマツの葉は錆びたような色で生気がない。夏の暑さで黄葉前に枯れかかっているようだ。何やら痛々しい◆林を抜けて石丸峠に到着。峠周辺はスズタケに覆われた山肌が目立つ。遠くから見るとまるでゴルフ場の芝生のようなようだ。その背景には大菩薩湖がよく見えた。石丸峠からは大菩薩峠への道を分かち、尾根道をお金沢山に向かう。この季節、花はほとんど見かけなかったが、時々笹の葉の間からリンドウの花が顔を出し、林の湿地には季節外れのバイカオウレンが1輪だけ咲いていた。ん～！何とも健気だ◆お腹がすいてきたが、小金沢山での昼食はスルーして牛奥ノ雁ヶ腹山まで我慢。到着した山頂でようやく昼食とする。富士山は残念ながら雲の中だった。昼食をいただいたあとは昆虫館まで長丁場を下山する◆帰りのバスは勝沼IC経由で順調に走った。ところが談合坂SAで休憩したあと、圏央道で事故により渋滞との情報。かなり大規模な渋滞とのことで、やむなく八王子ICで中央道をおり、日の出IC経由での帰路となった。談合坂から3時間半かけてようやく鶴ヶ島に到着。ホントお疲れさまでした。後で知ったことだが、午前11時頃あきる野IC付近でトレーラーなど6台が関係する玉突き事故で死傷者も出たという。改めて玉邑さんの安全運転に感謝。(南雲記)



北市民セ→圏央鶴ヶ島IC6:15→八王子JCT6:45→大月IC7:10→道の駅甲斐大和7:30着7:45発→小屋平・石丸峠入口8:25→石丸峠10:00→天狗棚山10:10→小金沢山11:40着11:55発→牛奥ノ雁ヶ腹山12:45着(昼食)13:10発→林道出合14:05→すずらん昆虫館14:50着15:00発→勝沼IC15:30→談合坂SA16:00着16:20発→八王子IC17:35→道の駅八王子滝山18:00着18:10発→日の出IC19:10→圏央鶴ヶ島IC19:35→北市民セ19:55 @5,000